

2020年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495400440	事業の開始年月日	平成28年9月1日	
		指定年月日	平成28年9月1日	
法人名	株式会社日本アメニティライフ協会			
事業所名	花物語たま北			
所在地	(214-0003) 神奈川県川崎市多摩区菅稲田堤3-18-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	令和2年9月25日	評価結果 市町村受理日	令和3年2月1日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

各入居者様にはレクリエーションや外出を多く取り入れ、歩行や残存能力が維持できるように支援してまいります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和2年10月29日	評価機関 評価決定日	令和3年1月9日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR「南武線稲田堤」駅あるいは京王相模原線「京王稲田堤」駅から徒歩10数分の多摩川沿いにあります。周辺は住宅地のほか、梨園も点在する静かな環境です。建物は3階建てで1階に同一運営法人の小規模多機能型事業所を併設しています。居室の向きによって、多摩川の花火や富士山を臨むことができます。

<優れている点>

今年度管理者の交代がありました。開設から継承している施設理念を踏まえ、新たに「チームワークに全力をつくす」を趣旨とした施設運営方針を掲げています。利用者の日々の穏やかな生活の継続、笑顔のある生活のため、理念、方針に沿ったケアが基本中の基本と考え、会議や研修でも話し合い、実践につなげています。そのための職員の意識向上の取り組みとして、管理者は日々ユニットを回り利用者の様子や職員の業務状況を把握しますが、その他は管理業務に専念し、リーダー職員を中心に現場に任せています。職員からの意見はリーダー経由で管理者にボトムアップするようにしています。また、サブリーダー職員も2名ずつ配置し、資格取得も推奨することで、お互いがスキルアップしていく就業環境をつくっています。それらの取り組みから利用者サービスの質の向上につなげようとしています。

<工夫している点>

敬老の日は宅配を手配した「寿司食べ放題パーティ」、誕生会は数種類のショートケーキを用意し、好みのものを複数選んでもらうなど「食」を楽しんでもらえるように工夫しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語たま北
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	施設理念を職員の目のとどく場所に設置したり申し送りや会議などで話し合い職員と理念を共有し実践にむけた取り組みをおこなっている。	今年度管理者の交代がありました。開設から継承している施設理念を踏まえ、新たに「チームワークに全力をつくす」を趣旨とした施設運営方針を掲げています。理念、方針に沿ったケアが基本中の基本と考え、会議や研修でも話し合い、実践につなげています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	併設の地域交流スペースの活用などにより近隣住民の方々にご利用者が交流できるよう事業所主催のイベントを開催していたが、令和2年3月よりコロナのため、交流できなくなっている。	新型コロナウイルス流行のため現在は控えていますが、建物1階の地域交流スペースで定期的にイベントを行っています。ボランティア、近隣の高齢者や子どもたちと利用者の良い交流の機会となっています。地域サークル活動の交流スペース利用は再開しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	併設の地域交流スペースをご利用された近隣住民の方や、サークル活動でご利用された皆様に事業所での支援の方法や認知症の方の理解をしていただけるよう情報提供をおこなっていたが、令和2年3月よりコロナのため、中止している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度開催し参加者はご家族、多摩区役所職員、町内会役員、地域包括職員、オーナー、事業所職員です。活動状況などを報告し意見交換をおこなうなど会議でのご意見をサービスの向上にいかせている。	今年度途中から3密に留意しながら会議を再開しています。会議には家族、町内会役員、地域代表者、多摩区の介護保険課と地域包括支援センター職員の出席があります。事業所の運営状況・事故・行事などの報告後、意見交換や質疑応答をしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	区役所の担当者の方とは面談をおこなったり密に連絡をとるなどして、日頃から運営推進会議などで情報交換や相談できる関係を築く事ができている。	多摩区の介護保険課とは運営推進会議の中で事業所の実情を伝えています。利用者それぞれの担当ケースワーカーの訪問や随時の電話連絡で情報を共有し、利用者を支援しています。グループホーム連絡会に加入し、市や区と連携を図っていくこととしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年間の研修計画をもとに、ミーティングや勉強会、ケアカンファレンスなどで話し合いをおこない、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、身体拘束適正化委員会を通じて、運営推進会議で報告している。	身体拘束適正化委員会は運営推進会議の中で行っています。事業所内研修で管理者は職員に対し身体拘束は「禁止」すなわち「できない」ことが原則であると話しているほか、ベッド柵についても利用者ケアに緊急性・必要性がないと注意喚起を促しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会をおこない、虐待防止マニュアルを参照し、虐待を見過ごさないように取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者を中心に勉強会やカンファレンスなどで学ぶ機会をもち、活用できるように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に、管理者とフロアリーダーが立ち会い、ご本人やご家族に事業所についての不安や疑問がないように説明をし、理解していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者やご家族が意見、要望を気軽に話せるような雰囲気作りに配慮している。また契約時に苦情相談窓口の説明をおこない、出された意見は運営に反映するように努めている。	意見箱、運営推進会議、面会時、随時の電話連絡時など家族が意見を表す機会を設けています。毎年受審の外部評価の家族アンケートのコメントも反映するようにしています。利用者本人ケアへの意見や相談は個別に対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝の申し送り時や、意見交換のノートも活用し、だされた意見や提案などは会議などで精査し反映させている。	全体会議では、職員からの気づきや意見の事前提出を促しています。会議で内容を精査し、業務改善等を行っています。その他、リーダー職の意識向上につなげるため、職員からの意見はリーダー経由で管理者にボトムアップするようにしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に勤務状況を把握し、意見や相談がある場合は出来る限り希望を反映させるよう努めている。無資格者には資格取得支援制度などの奨学金制度も整備し向上心をもてるような環境にしております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修への参加や資格取得を推奨するなど、個々のスキルやモチベーションの向上に働きかけています。コロナのためR2年3月より中止中。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括と連携をとり同じ地域の介護事業所の管理者やケアマネージャーを招き地域交流スペースにて意見交換や活動状況を報告しサービスの質の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にご本人に要望や不安な事を聞き取り、利用開始時にはアセスメントをとり、会話の機会を多くもつことで信頼関係の構築につながるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族やご本人が困っている事や不安な事要望など要望を聞き取り介護支援計画書に反映させ、安心して利用していただけるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	認知症の度合いやおかれている環境を把握し、現在必要とされているサービスに繋がられるように努めています。またグループホームに適切かどうかとも考慮し場合によっては小規模多機能居宅介護や療養型の事業所への紹介をおこなっております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人の意思を尊重し、ADLや意欲にそった方法で個別性を考慮した支援をおこなっております。職員や他者と協力しながら生活する事で暮らしを共にする物同士の関係性の構築に努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の意見も反映しできるようにし、ご本人の情報を家族と共有することで一方通行にならないように心がけています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	古くからの友人の方々に施設までお越しいただき、入居前と変わらない友人関係の維持に努めています。コロナのためR2年3月より中止中。	新型コロナウイルスの流行後は時間に制限を設けていますが、家族の面会を歓迎しています。古くからの友人・知人とは電話で交流してもらっています。手紙のやり取りも複数の利用者が継続しています。家族との外出は感染症の収束後となっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションやお誕生日会、季節のイベントなどの交流を通して良好な関係が構築できるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	家族を通じて事業所への情報提供の支援を行っております。入院時のお見舞いや、手紙などによりよい関係が継続できるように努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアなかでお話しや仕草、表情などからくみとっています。アセスメントを行い、カンファレンスや申し送りにて思いや意向の把握に努めております。	日々の日常会話の中で思いや意向の把握をしています。仕草や表情などからも推し量っています。「寿司が食べたい」という意向から宅配を手配し「寿司パーティ」を楽しんだり、花が好きな利用者があるので、フラワーアレンジメント教室を開催しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族やご本人、以前担当されていたケアマネージャーなどから情報を得て今までの馴染みの生活や趣味などが継続してできるように職員間での情報共有をしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々のケアの中から情報収集をおこない、申し送り時やミーティングなどで情報共有をし、ケアプランに反映できるように取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人の意向に沿った介護計画にする為、ご本人との会話を大切にし、ご家族、医療職、介護職からの情報を得てアイデアを出し合い、現状に即した介護計画書を作成しています。	ケアプランは1年で作成し、入居者・家族の希望や状況に基づいて6ヶ月の短期目標を設定しています。モニタリングは状況に応じて3ヶ月ごとに行っていますが、個人記録にプランの実施状況のチェック欄があるのでそれも参考にしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録に、時間毎の様子や入居者の言葉など、日々の情報や気づきを記録し、抱えている思いをリサーチしカンファや申し送りにて情報共有や意見交換をして介護計画書への反映や見直しにいかしております。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	常に現状必要なサービスや今後必要なサービスは何かを考え、本人と家族の関係性、意向を考慮しながら、受診の支援や親類との関係の調整など必要なサービスにつなげられるように取り組んでいます。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のボランティアの方々におこしいただいたり、近隣施設でのイベントに参加させていただき、演奏会などの交流を通じて楽しんでいただけるよう取り組んでいます。コロナのためR2年3月より中止中。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期往診を月2回受けていただいています。心身状態について、ご家族や主治医と常に連携をとり、本人が適切な治療を受けられるよう支援しています。	本人、家族の同意を得て月2回、協力医療機関の往診を受けています。看護師職員は3名おり週3回、日常の健康管理、医療連携をしています。精神科など専門医受診は家族対応です。訪問歯科は月4回、口腔ケアを行っています。24時間オンコール体制です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の申し送りやケアの中での相談、個人記録への記入など情報共有をおこない、適切な受診や看護につなげています。また介護職員に対して看護師が適切な処置などの指導もおこなっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中のお見舞いや、家族と連絡をとることにより、常に本人のお見舞いに行くなど本人の状態を把握するよう努めています。病院の看護師や相談員の方々と密に連携をとり情報の共有に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に、重度化した場合や看取りについての説明をおこない同意を交わしています。ご家族の意向も確認し、入居後も重度化や終末期を迎える場合を考慮し、定期的な方針の確認や見直しをおこなっています。	契約時に重度化した場合の説明、同意を得ています。本人家族の意向を大切に、医療連携の体制を整えています。看取りの経験があり、研修や看護師指導のもと出来る限りの支援に努めています。チームワークの看取り後、エンゼルケアも行ないました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	管理者から職員に対して発見時の対応や報告の指導を行っています。看護師からも初期対応や応急手当の指導をしてもらい、急変や事故発生時に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	川崎市多摩消防署と連携し避難訓練などもおこなっております。災害時に対応出来る備蓄品や飲料水の自動販売機の設置などの備えもしております。地域の方々にも訓練の呼びかけ等の協力をしていただいております。	年2回、放水実習などを含んだ避難訓練を実施していますが、今年はコロナ渦で出来ていません。年度内に実施予定です。昨年の台風による床上浸水は大きな教訓となっています。備蓄は3日分の食料、飲料水をリストの覧で管理しています。	あらゆる災害に備えた避難訓練の実施も期待されます。コンロ、懐中電灯など総合的な防災用品についてもリスト化した管理が期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人お一人の人格を尊重し、人生の大先輩であると認識し、常に尊敬と敬意をもって接しております。ご利用者様の生活歴や性格、体調を考慮しながらその方にあった言葉かけや対応を心がけています。	人権、接遇に関する研修、職員会議などで周知徹底しています。誇りを損ねない対応、過剰にならない支援に努めています。排泄や入浴時の介助、声掛けでは声の大きさ、羞恥心に配慮し同性介助優先としています。居室入室の際のノック、声掛けを徹底しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	その方その方にあった言葉かけや選択肢を提案し、自己決定や希望を表すことが出来るようにおこなっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個人個人の生活史や性格などを把握し、その人のペースに合わせてお食事や、入浴などの支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自身で洋服を選択できるご利用者様がほとんどですが、判断が難しい場合には、ご一緒に洋服を選んで差し上げたり、身だしなみのお手伝いをするなどの支援をおこなっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	お一人お一人の好みやできる力を把握し、食事の前のテーブル拭きや、食後の下膳などを手伝っていただいています。	食材、献立は外部に委託し、湯煎して提供しています。誕生会、敬老会では出前をとり、ケーキや寿司食べ放題、うなぎのパーティーなど様々な企画があり、利用者の楽しみとなっています。食器拭き、下膳など出来ることを手伝っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養バランスのとれたメニューを食べていただいております。個人の状態に合わせたご飯の盛り付けや適切な飲水量が確保できるように声掛けするなどの支援を行っております。個人記録に食事摂取量、水分量を記録し必要な量がとれているか把握しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	お食事の後、お声かけし口腔ケアをしていただいております。口腔ケアが難しい方には歯磨きの準備や義歯の洗浄などの支援をおこなっております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご本人からの尿意や便意の訴えにより随時、誘導、見守り、パット交換などの支援をおこなっております。排泄記録を活用し、排泄パターンを把握することで排泄の失敗やオムツ類の使用を減らせるようにおこなっております。	排泄パターンを共有し、定時、随時のトイレ誘導を行っています。寝たきりの利用者を除き、現在おむつ使用はしません。夜間はリハビリパンツ、パットで調整、1時間毎に巡回し状況確認しています。退院後おむつからリハビリパンツに戻るなど改善しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	個々の水分量や食事量を把握し排泄の記録を残すことで便秘の早期発見と予防に努めています。体操や散歩、必要な飲水量の確保、おやつ工夫などで排便コントロールの支援をおこなっております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご本人の意思の尊重や身体の状態を考慮しながら、お一人お一人が出来るだけご希望にあわせ、気分良く浴していただけるよう心がけています。	入浴は週2回、本人の希望を叶えるようにしています。湯は利用者ごとに毎回取り替え、入浴剤を使用して湯船に浸かり、ゆっくりとした時間を過ごしています。入浴拒否の場合は、無理強いをせず時間や曜日を変えて対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人の生活習慣や身体の状態をを把握し安心して眠れるようお声掛けや入床のお手伝いをしております。日中の活動を促し生活リズムを整えられるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	状態の変化や経過などを主治医に報告し連携に努めています。職員が薬の目的や副作用などが把握できるよう、薬剤情報を随時確認しながら服薬支援をおこなっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	誰かの役に立つことで生活に張り合いを感じ喜びの日々を過ごせるよう支援しております。お一人お一人の力を発揮できるよう、お願いできる事は頼み感謝の言葉をお伝えしております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	可能な限り散歩やご希望の場所に外出ができるよう支援しております。また、ご家族様との外出支援ができるように連絡の調整や当日の準備、身体の状態の把握などもおこなっております。コロナのためR2年3月より中止中。	近隣の多摩川や梨園、公園まで散歩、季節行事でバラ園などへ出かけていました。現在は外出自粛により玄関、ベランダでの外気浴、階段の上り下りをして足腰を鍛えています。外出が可能になった際には工場見学や芋ほりなど様々な外出の企画を検討しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	施設事務所にて、金銭管理はおこなっており、使用した額をご請求させていただく立替え制度をとっております。ご本人のご希望に応じ小額のお金を所持できるようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様のご要望に応じてご家族と電話ができるように支援しております。大切な方々とのやり取りができるよう手紙を書くことへの支援もおこなっております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	温度や湿度に配慮し快適に過ごしていただけるよう管理しております。ご利用者様の作品を展示し、ご利用者様やご家族の方々との会話につながるように工夫しております。	居室、ベランダに面したリビングは陽ざしや風通しもよく清潔感があります。クッション性のある木目調の床、白基調の壁には利用者と職員手作りの季節の作品を掲示しています。空気清浄機、消臭除菌の加湿器、換気で温湿度の管理をしています。玄関入ると洗面台があり衛生面の気配りがあります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合うご利用者様同士が過ごせるよう、テーブル席などの配慮をおこなっております。他ユニット同士でも交流をもち気分転換をはかっております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご自宅に近い感覚で居心地よく過ごしていただけるよう、なじみの家具やお気に入りの写真などをお持ちいただいています。	居室に低床ベッド、エアコン、クローゼットを備え付けています。室内はすっきりと整えられており、写真や装飾品、テレビ、仏壇、家具など使い慣れたものを持ち込み、居心地よく暮らせるようにしています。衣類整理は家族対応で行っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	お一人お一人の力量に応じて自立した生活がおくれるように、家具の配置や車椅子の置き場所などを考慮し、安全な環境の整備や見直しに取り組んでいます。		

事業所名	花物語たま北
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	施設理念を職員の目のとどく場所に設置したり申し送りや会議などで話し合い職員と理念を共有し実践にむけた取り組みをおこなっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	併設の地域交流スペースの活用などにより近隣住民の方々とご利用者が交流できるよう事業所主催のイベントを開催していたが、令和2年3月よりコロナのため、交流できなくなっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	併設の地域交流スペースをご利用された近隣住民の方や、サークル活動でご利用された皆様に事業所での支援の方法や認知症の方の理解をしていただけるよう情報提供をおこなっていたが、令和2年3月よりコロナのため、中止している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度開催し参加者はご家族、多摩区役所職員、町内会役員、地域包括職員、オーナー、事業所職員です。活動状況などを報告し意見交換をおこなうなど会議でのご意見をサービスの向上にいかせている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	区役所の担当者の方とは面談をおこなったり密に連絡をとるなどして、日頃から運営推進会議などで情報交換や相談できる関係を築く事ができている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年間の研修計画をもとに、ミーティングや勉強会、ケアカンファレンスなどで話し合いをおこない、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、身体拘束適正化委員会を通じて、運営推進会議で報告している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会をおこない、虐待防止マニュアルを参照し、虐待を見過ごさないように取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者を中心に勉強会やカンファレンスなどで学ぶ機会をもち、活用できるように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に、管理者とフロアリーダーが立ち会い、ご本人やご家族に事業所についての不安や疑問がないように説明をし、理解していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者やご家族が意見、要望を気軽に話せるような雰囲気作りに配慮している。また契約時に苦情相談窓口の説明をおこない、出された意見は運営に反映するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝の申し送り時や、意見交換のノートも活用し、だされた意見や提案などは会議などで精査し反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に勤務状況を把握し、意見や相談がある場合は出来る限り希望を反映させるよう努めている。無資格者には資格取得支援制度などの奨学金制度も整備し向上心をもてるような環境にしております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修への参加や資格取得を推奨するなど、個々のスキルやモチベーションの向上に働きかけています。コロナのためR2年3月より中止中。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括と連携をとり同じ地域の介護事業所の管理者やケアマネージャーを招き地域交流スペースにて意見交換や活動状況を報告しサービスの質の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にご本人に要望や不安な事を聞き取り、利用開始時にはアセスメントをとり、会話の機会を多くもつことで信頼関係の構築につながるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族やご本人が困っている事や不安な事要望など要望を聞き取り介護支援計画書に反映させ、安心して利用していただけるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	認知症の度合いやおかれている環境を把握し、現在必要とされているサービスに繋げられるように努めています。またグループホームに適切かどうかも考慮し場合によっては小規模多機能居宅介護や療養型の事業所への紹介をおこなっております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人の意思を尊重し、ADLや意欲にそった方法で個別性を考慮した支援をおこなっております。職員や他者と協力しながら生活する事で暮らしを共にする物同士の関係性の構築に努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の意見も反映しできるようにし、ご本人の情報を家族と共有することで一方通行にならないように心がけています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	古くからの友人の方々に施設までお越しいただき、入居前と変わらない友人関係の維持に努めています。コロナのためR2年3月より中止中。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションやお誕生日会、季節のイベントなどの交流を通して良好な関係が構築できるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	家族を通じて事業所への情報提供の支援を行っております。入院時のお見舞いや、手紙などによりよい関係が継続できるように努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアなかでお話しや仕草、表情などからくみとっています。アセスメントを行い、カンファレンスや申し送りにて思いや意向の把握に努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族やご本人、以前担当されていたケアマネージャーなどから情報を得て今までの馴染みの生活や趣味などが継続してできるように職員間での情報共有をしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々のケアの中から情報収集をおこない、申し送り時やミーティングなどで情報共有をし、ケアプランに反映できるように取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人の意向に沿った介護計画にする為、ご本人との会話を大切にし、ご家族、医療職、介護職からの情報を得てアイデアを出し合い、現状に即した介護計画書を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録に、時間毎の様子や入居者の言葉など、日々の情報や気づきを記録し、抱えている思いをリサーチしカンファや申し送りにて情報共有や意見交換をして介護計画書への反映や見直しにいかしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	常に現状必要なサービスや今後必要なサービスは何かを考え、本人と家族の関係性、意向を考慮しながら、受診の支援や親類との関係の調整など必要なサービスにつなげられるように取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のボランティアの方々におこしいただいたり、近隣施設でのイベントに参加させていただき、演奏会などの交流を通じて楽しんでいただけるよう取り組んでいます。コロナのためR2年3月より中止中。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期往診を月2回受けていただいています。心身状態について、ご家族や主治医と常に連携をとり、本人が適切な治療を受けられるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の申し送りやケアの中での相談、個人記録への記入など情報共有をおこない、適切な受診や看護につなげています。また介護職員に対して看護師が適切な処置などの指導もおこなっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中のお見舞いや、家族と連絡をとることで、常に本人のお見舞いに行くなど本人の状態を把握するよう努めています。病院の看護師や相談員の方々と密に連携をとり情報の共有に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に、重度化した場合や看取りについての説明をおこない同意を交わしています。ご家族の意向も確認し、入居後も重度化や終末期を迎える場合を考慮し、定期的の方針の確認や見直しをおこなっています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	管理者から職員に対して発見時の対応や報告の指導を行っています。看護師からも初期対応や応急手当の指導をもらい、急変や事故発生時に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	川崎市多摩消防署と連携し避難訓練などもおこなっております。災害時に対応出来る備蓄品や飲料水の自動販売機の設置などの備えもしております。地域の方々にも訓練の呼びかけ等の協力をさせていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人お一人の人格を尊重し、人生の大先輩であると認識し、常に尊敬と敬意をもって接しております。ご利用者様の生活歴や性格、体調を考慮しながらその方にあった言葉かけや対応を心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	その方その方にあった言葉かけや選択肢を提案し、自己決定や希望を表すことが出来るようにおこなっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個人個人の生活史や性格などを把握し、その人のペースに合わせてお食事や、入浴などの支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自身で洋服を選択できるご利用者様がほとんどですが、判断が難しい場合には、一緒に洋服を選んで差し上げたり、身だしなみのお手伝いをするなどの支援をおこなっています。。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	お一人お一人の好みやできる力を把握し、食事の前のテーブル拭きや、食後の下膳などを手伝っていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養バランスのとれたメニューを食べていただいております。個人の状態に合わせたご飯の盛り付けや適切な飲水量が確保できるように声掛けするなどの支援を行っております。個人記録に食事摂取量、水分量を記録し必要な量がとれているか把握しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	お食事の後、お声かけし口腔ケアをしていただいております。口腔ケアが難しい方には歯磨きの準備や義歯の洗浄などの支援をおこなっております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご本人からの尿意や便意の訴えにより随時、誘導、見守り、パット交換などの支援をおこなっております。排泄記録を活用し、排泄パターンを把握することで排泄の失敗やオムツ類の使用を減らせるようにおこなっています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	個々の水分量や食事量を把握し排泄の記録を残すことで便秘の早期発見と予防に努めています。体操や散歩、必要な飲水量の確保、おやつや運動の工夫などで排便コントロールの支援をおこなっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご本人の意思の尊重や身体の状態を考慮しながら、お一人お一人が出来るだけご希望にあわせ、気分良く浴していただけるよう心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人の生活習慣や身体の状態をを把握し安心して眠れるようお声掛けや入床のお手伝いをしております。日中の活動を促し生活リズムを整えられるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	状態の変化や経過などを主治医に報告し連携に努めています。職員が薬の目的や副作用などが把握できるよう、薬剤情報を随時確認しながら服薬支援をおこなっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	誰かの役に立つことで生活に張り合いを感じ喜びの日々を過ごせるよう支援しております。お一人お一人の力を発揮できるよう、お願いできる事は頼み感謝の言葉をお伝えしております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	可能な限り散歩やご希望の場所に外出ができるよう支援しております。また、ご家族様との外出支援ができるように連絡の調整や当日の準備、身体の状態の把握などもおこなっております。コロナのためR2年3月より中止中。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	施設事務所にて、金銭管理はおこなっており、使用した額をご請求させていただき立替え制度をとっております。ご本人のご希望に応じ小額のお金を所持できるようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様のご要望に応じてご家族と電話ができるように支援しております。大切な方々とのやり取りができるよう手紙を書くことへの支援もおこなっております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	温度や湿度に配慮し快適に過ごしていただけるよう管理しております。ご利用者様の作品を展示し、ご利用者様やご家族の方々との会話につながるように工夫しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合うご利用者様同士が過ごせるよう、テーブル席などの配慮をおこなっております。他ユニット同士でも交流をもち気分転換をはかっております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご自宅に近い感覚で居心地よく過ごしていただけるよう、なじみの家具やお気に入りの写真などをお持ちいただいています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	お一人お一人の力量に応じて自立した生活がおくれるように、家具の配置や車椅子の置き場所などを考慮し、安全な環境の整備や見直しに取り組んでいます。		

2020年度

目標達成計画

事業所名 花物語たま北

作成日： 令和 3 年 1 月 27 日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	あらゆる災害に備えた避難訓練の実施及びコンロ・懐中電灯などの防災用品のリスト表を作成する	1. 避難訓練の今年度中の早急な実施 2. 防災用品リスト表の追加作成	1. R2. 11. 1に総合訓練を実施し、多摩消防署に届出済 2. R2. 11. 1に不足防災用品をチェック・購入し新リスト表を作成済	1ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月